

労働力調査（基本集計）平成25年（2013年）平均（速報）結果の要約

1. 2013年平均の完全失業率は4.0%と、前年に比べ0.3ポイント低下

・男性は4.3%と0.3ポイントの低下，女性は3.7%と0.3ポイントの低下

（「本文」12ページ）

2. 2013年平均の完全失業者は265万人と、前年に比べ20万人減少

（「本文」11ページ）

（主な求職理由別の動向）	（完全失業者数）（対前年増減）
非自発的な離職・・・・・・・・・・・・・・・・	90万人と、12万人減少
定年又は雇用契約の満了による離職・・・・	29万人と、3万人減少
勤め先や事業の都合による離職・・・・	61万人と、9万人減少
自発的な離職（自己都合）・・・・・・・・	96万人と、5万人減少
学卒未就職・・・・・・・・・・・・・・・・	15万人と、1万人減少
収入を得る必要が生じたから・・・・・・・・	34万人と、3万人減少

（「本文」13ページ）

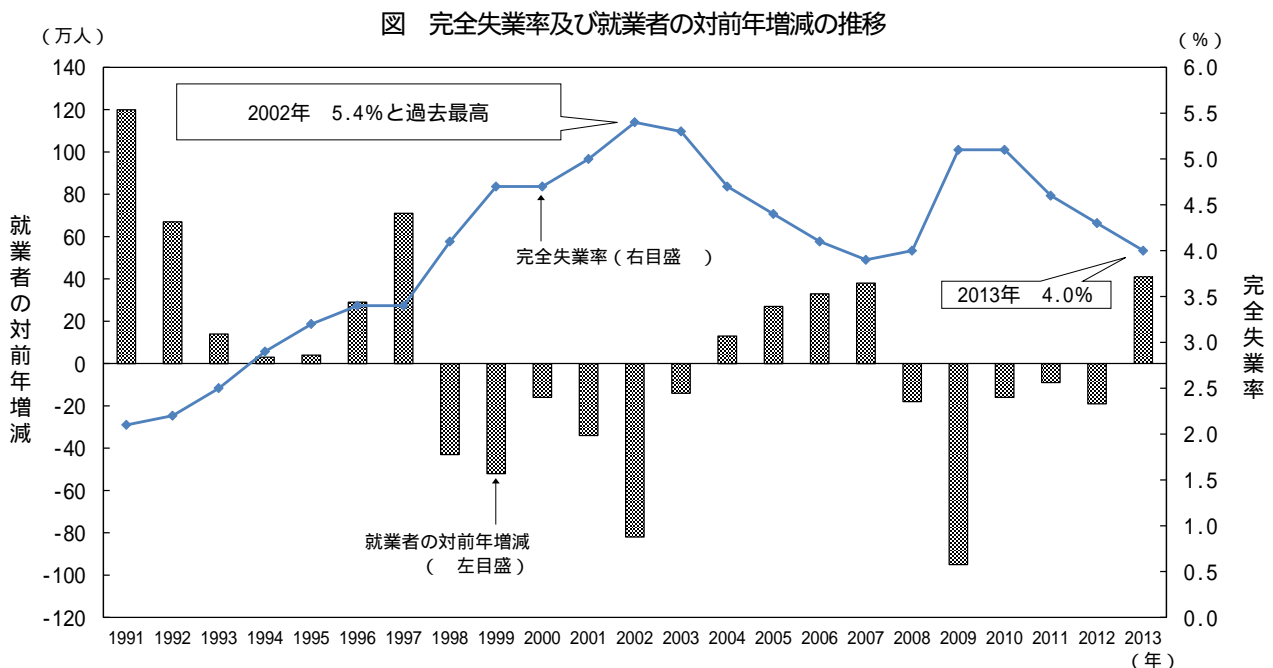
3. 2013年平均の就業者は6311万人と、前年に比べ41万人増加

（「本文」5ページ）

（主な産業別の動向）	（就業者数）（対前年増減）
医療、福祉・・・・・・・・・・・・・・・・	735万人と、23万人増加
卸売業、小売業・・・・・・・・・・・・・・・・	1057万人と、7万人増加
宿泊業、飲食サービス業・・・・・・・・	384万人と、6万人増加
サービス業（他に分類されないもの）・・	401万人と、4万人増加
建設業・・・・・・・・・・・・・・・・	499万人と、6万人減少
製造業・・・・・・・・・・・・・・・・	1039万人と、14万人減少

注) 2013年1月以降、労働者派遣事業所の派遣社員を派遣先の各産業に分類している。ただし、各産業の対前年増減を算出する際には、これらを補正した数値で比較している。

（「本文」9ページ）



4. 2013年平均の正規の職員・従業員は3302万人，非正規の職員・従業員は1906万人

・役員を除く雇用者に占める非正規の職員・従業員の割合は36.6%

(「本文」8ページ)

5. 2013年平均の就業率は56.9%と，前年に比べ0.4ポイント上昇

・うち15～64歳は71.7%と1.1ポイントの上昇，65歳以上は20.1%と0.6ポイントの上昇

(「本文」6ページ)

6. 2013年平均の非労働力人口は4506万人と，前年に比べ34万人減少

・うち65歳以上は72万人増加

(「本文」4ページ)

表 就業状態別人口(2013年)

(万人，%，ポイント)

		総数	15～64歳	65歳以上
実数	15歳以上人口	11088	7919	3168
	労働力人口	6577	5926	650
	就業者	6311	5676	636
	完全失業者	265	251	15
	非労働力人口	4506	1988	2518
	就業率	56.9	71.7	20.1
対前年増減	15歳以上人口	-10	-123	113
	労働力人口	22	-20	41
	就業者	41	1	41
	完全失業者	-20	-20	1
	非労働力人口	-34	-106	72
	就業率	0.4	1.1	0.6

- 留意事項 -

2011年平均(全国及び東北)は，東日本大震災の影響により，関連統計等を用いて補完推計を行った。また，2012年1月分結果から算出の基礎となるベンチマーク人口を，2005年国勢調査結果を基準とする推計人口(旧基準)から2010年国勢調査結果を基準とする推計人口(新基準)に切り替えた。この切替えによる変動(ギャップ)は全国の15歳以上人口で+69万人であったため，2012年以降の結果と接続できるように，2005年から2011年までの数値については，東日本大震災による補完推計の値も含め，時系列接続用数値を別途算出した(比率を除く。)本冊子では，この時系列接続用数値を掲載するとともに，同数値により前年比較を行っている。